

マレーシア：サバ校 (サイエンススクール・コタキナバル)

尾崎順子(大阪府豊中市)

滞在期間：2011年6月13日～7月8日(26日間)



サバ校のカフェテラス

サバ校について

今回、2度目の日本語ボランティアとして、ボルネオ島にあるコタキナバルのサバ校を再訪しました。中学1年生～高校2年生の生徒達が全寮制で生活をしています。生徒たちは勉強熱心で、いつも学びたいという情熱を持って、集中して学習ができる優秀な学生達が集まっている学校です。

選択科目の中で日本語が一番人気があり、現在、200名ほどの学生達が学んでいます。

マレーシア人の日本語担当教師のノリザン先生は学生達に国際交流の機会を多く体験させ、将来、グローバルな人間になってほしいという願いを持って、熱心に日本語を指導されている先生です。ノリザン先生のていねいな授業で、学生達は興味を持って熱心に日本語を学習していました。

そのノリザン先生と一緒に授業のサポートや日本の文化などを教える授業を実践してきました。学生達は昨年度、私が来たことを覚えていてくれたので授業もスムーズにできたと思います。

今回は週4回(月～木)学校に行く予定でしたが、6月に音楽交流コンサートのイベントがあり、それまでは、ほとんど毎日行くことになりました。

音楽交流イベント

6月中旬に国際交流イベントとしてサバ校で音楽交流コンサートが開かれました。去年に引き続き、このコンサートは2回目になります。

日本からはシンガーソングライターとしてご活躍

のHMさん、バイオリニストのWさん達が学校に来られました。今回は大阪万博のときに使用されたエメラルドグリーンのピアノを、いろいろとご苦労されてこのサバ校に寄贈してくださいました。その贈呈式も行われました。



海を越えて贈られたエメラルドグリーンのピアノ

コンサート当日までは学生たちはスピーチの練習・踊りの練習などを自分達でグループに分かれて一生懸命練習していた姿は忘れられません。私はスピーチを読む学生に気持ちを込めて読む練習やアクセントなどを指導したり、歌の練習も一緒にしました。コンサート当日は大成功でした。参加者全員の心が一つになった素晴らしいコンサートでした。私も貴重な体験ができたことにとっても感動しました。

授業について

授業は初級の日本語を学習していました。日本語担当のノリザン先生が基本的な文法などの指導をていねいにされているので、それを補ったり、復習したりして確認しました。

また、ネイティブの日本人として日本の文化や習慣の違いを理解させ、日本の文化を伝えることが国際交流につながると考え、今回は簡単なカルタや福笑いや小さい子どもたちのためのゲーム(「あっちむいてホイ」他)などを多くしました。学生達はすぐにルールを理解して、取り組んでいました。



福笑いで大笑い

書道も今までのボランティアの方々の熱心なご指導もあり、自分の名前をカタカナで書く授業もしましたが、すらすらと美しい文字が書けていました。

また、日本の歌は「ドラえもののうた」「世界に一つだけの花」「大きなくりの木の下で」なども大好きで、授業の初めに何回も歌いました。日本から歌のCDを持参した方がわかりやすいと思いました。



N先生と♪「大きなくりの木の下で」

最後に

今回は、秦 万里子さんの音楽交流コンサートを通して本当の国際交流とは何かという大切なことを学びました。それは、ホスピタリティの大切さです。相手（国）の立場に立ち、相手に思いやりの気持ちをもって接し、心配りをしていこうという姿勢をいつも持つことの大切さをノリザン先生は日ごろから指導されています。学生達はその考え方を理解し、自主的に夜遅くまで活動していました。

会場の設営や司会進行・歓迎のスピーチ・効果音・飾りつけ・贈呈式などを、どうしたら遠くから来られる日本人に喜んでいただけるかという気持ちで取り組んでいました。

日本の学生も、日本人としてのホスピタリティの心をもっと学ばなければと思いました。

当日のコンサートの最後に3年生の女子学生がスピーチを発表しました。コンサートの感想でした。彼女は途中で感情が抑えきれずに泣き出してしまいました。そのとき、大きな拍手が起こりました。もらい泣きをしている人たちもたくさんいました。会場全体がその学生をみんなで支えたのです。なんて素晴らしい学生達なのだろうと思いました。

最後にその女子学生のスピーチを抜粋します。 (日本語で発表)

「神からいただいた人生にどんなときも感謝して時間を無駄にしないようにすることだと思います。」
「人生とはいつも挑戦です。だからいつも仲間が必要なんだ」「悩みがあるときは仲間と一緒に抜け出すことが人生で一番大事なことなんだ」「夢を実現するために一所懸命努力し、心の中に夢を強く持ち続ける、それが成功の鍵だ」「絶対にあきらめないと決心した」

2回目のサバ校での活動になりましたが、これからも、さらなる出会いの輪が広がって行くことを願っています。

たくさんのことを学ばせていただいた皆様方、お世話になった皆様方、本当にありがとうございました。



3年生と一緒に